

④共有ビジョン ～「私の」から「私たちの」へ～

共有ビジョンとは？

共有ビジョンとは、組織のメンバーが共有して抱く未来への憧憬です。「私たちは何を創り出すのか」、「私たちはどうありたいのか」という問いへの答えです。

共有ビジョンは、個人ビジョンを重ね合うことで築かれます。

引用：小田理一郎（2017）『学習する組織』入門



意味も分からず、言われたから仕方なくやっている仕事もあるけど・・・これでいいのかな？



目的ややり方を丁寧に説明したけど、みんな乗り気ではないような・・・。

チェック

自分や組織・チームを振り返ってみましょう！



- チームで取り組む課題に対して、それぞれのメンバーが、納得し、「取り組みたい」、「解決したい」という気持ちになっていますか？
- お互いの思いや考えを聞き合いながら、チームとしての共有ビジョンをつくる機会や時間を設けていますか？
- チームの目的や目標の達成に向かって、一人一人がどのような役割で、どのような仕事をすればよいのか、具体的にイメージできますか？

ポイント

【共有ビジョンの普及を図るために】

共有ビジョンの普及とは、リーダーによる発表やプレゼン、イベントなどでなされるものではありません。組織・チームの日々の意思決定や行動の中に、共有ビジョンを反映した発言、問いかけを織り込んでいくことが大切です。

また、チームのメンバーに対して、繰り返し自分の信じるビジョンを語りながら対話を積み重ねていくことが、組織・チームのビジョンを共有することにつながっていきます。



<組織・チームのビジョンを共有するために実行することを書いてみましょう！>



そもそも、「私たちの」のビジョンになっていますか？そのために、何ができますか？